



2019年9月5日
東京地下鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

「TOKYO SPORTS STATION」第9シリーズの開始について

東京地下鉄株式会社(代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」)と東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)として、東京2020大会の各競技の見どころ・観戦ポイントを紹介する「TOKYO SPORTS STATION」の第9シリーズを開始いたしますのでお知らせいたします。

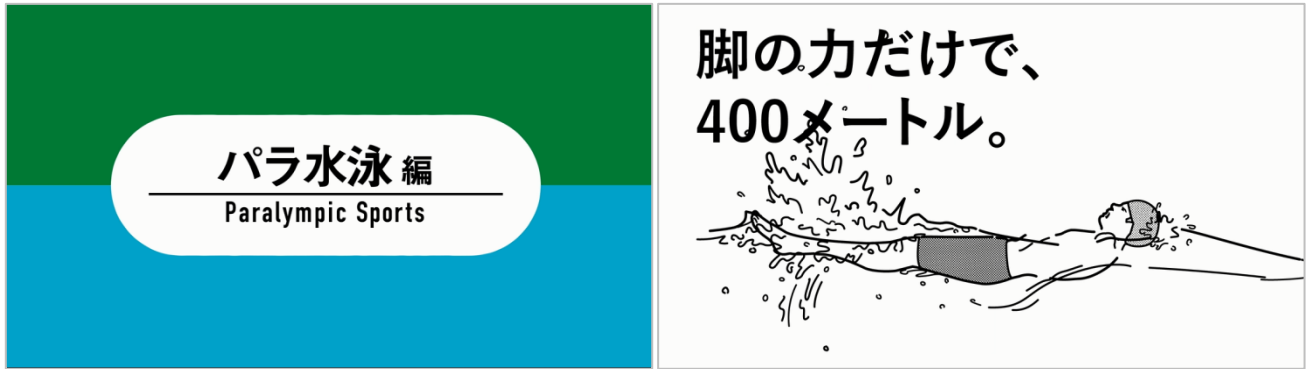
「TOKYO SPORTS STATION」は電車内のビジョンを中心に放映するほか、特設YouTubeチャンネルにてこれまでの放映分も含めてご覧いただけます。

皆さまの移動時間を更に楽しんでいただけるものとなっておりますので、ぜひご覧ください！


- 1 主 催 東京メトロ、JR 東日本
- 2 概 要 「TOKYO SPORTS STATION」第9シリーズ：2019年9月9日(月)～
- 3 第9シリーズ紹介競技 #38 パラ水泳
#39 パラローイング
#40 パラアーチェリー
#41 テニス
#42 パラ射撃
#43 ウエイトリフティング
#44 自転車競技
- 4 動 画 展 開 東京メトロ：Tokyo Metro Vision
JR 東 日 本：トレインチャンネル
※特設YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/c/TOKYOSPORTSSTATION>
からもご覧いただけます。(2019年9月5日(木)14:00以降順次公開)
- 5 ポスター展開 東京メトロ、JR 東日本の電車内にポスター掲出

■ 「TOKYO SPORTS STATION」競技紹介（#38 パラ水泳）

・動画




・ポスター



Tokyo 2020に
乗り遅れないための


TOKYO SPORTS STATION #38



YouTubeで
動画も公開中!


パラ水泳 編
Paralympic Sports

脚の力だけで、400メートル。




自分の障がいに最も適した泳ぎ方をできるが、「パラ水泳」の勝敗を分けるポイント。たとえば、両腕を欠損している選手の場合、巧みなキックを繰り出し続けることで、400mもの距離を泳ぎきる、というから驚きです。

スタートは、十人十色。



障がいによる競技能力に応じて分けられたクラスごとに、順位を競うこの競技。そのため、同じレースでも選手の競技スタイルは多種多様。個性を生かしたドラマチックな勝負は要注目です。






ターンの合図は、釣り竿。



視力に障がいのある選手には、ターンのタイミングを教えるためのアイテム「タッピング棒」を使用します。安全を考慮すれば、独自に工夫して作ることができ、現在は釣り竿を改良したものが人気です。

【パラ水泳とは?】
第1回パラリンピックのローマ1960大会から行われている歴史ある競技です。機能障がい、視覚障がい、知的障がいなど、障がいの種類や程度によって14のクラス(2019年8月現在)に分かれ、順位を競います。日本は世界屈指の強豪国で、メダルが期待される競技の1つです。

【競技会場】
東京アクアティクスセンター
(2019年8月現在の情報です)

東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)